

きららだより

平成29年
9月号

9月の予定

1	金	★引取り訓練
2	土	
3	日	
4	月	YY
5	火	きららっこ④
6	水	EE・リズム
7	木	音楽・敬老会リハ
8	金	
9	土	☆大掃除 保護者会役員会
10	日	
11	月	
12	火	園内探検②(地域)
13	水	リズム・茶道
14	木	音楽・運動
15	金	敬老の日の集い お弁当の日
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	EE・リズム
21	木	音楽・運動
22	金	☆8.9月生お誕生会
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	YY
26	火	音の遊園地(地域)
27	水	EE・リズム・茶道
28	木	音楽
29	金	運動会リハ きららサロン②
30	土	

10月の主な予定

5日(木) 運動会リハ
9日(月・祝) 体育の日
16日(月) 運動会リハ
21日(土) きらら運動会
26日(木) みかん狩り遠足
お弁当の日
31日(金) きららサロン

その他避難訓練・身体測定

今年の夏は、猛烈な暑さでしたがお盆あたりからまるで梅雨のように雨が続き、冷夏のようにになりましたね。でも、湿気はすごくあって暑い日が続いています。体調を崩しやすい気候ですが、予防を心掛けて元気に過ごしましょう。秋には、「敬老会」「運動会」と子どもたちの楽しみにしている行事が目白押しです。一回り二回りと、成長する機会となる行事です。子どもたち一人ひとりの日々の取り組む過程を大切に、目標に向けてひたむきな姿勢を見守りつつ援助していきたいと思ひます。

敬老の日の集い 9月15日(金)

配布おたよりで詳細はお知らせしていますが、今月15日に「敬老の日の集い」を行います。おじいちゃま、おばあちゃまをご招待して、様々な出し物を子どもたちと考へています。この日はお弁当の日になっておりますので、早帰りをしない幼児クラスの方とにじ組は全員、忘れずにお弁当と水筒をご用意下さい。

子どもたちの出し物の他に、きらら保育園の園歌を作って頂いた[]さんをお迎えしてミニコンサートも予定しております。

事前申し込みは、既に8月21日(月)で締切は過ぎております。舞台での発表・ご招待は2歳児にじ組以上が行います。

運動会リハーサル(予行練習)と写真撮影

リハーサル1回目 9月29日(金)

乳児写真撮影 9時半から

リハーサル2回目 10月5日(木)

幼児写真撮影 9時から

最終リハーサル 10月16日(月)

上記の日程で運動会のリハーサルを行う予定です。変更がある場合には、掲示板やメールでお知らせさせていただきますのでよろしくお願い致します。運動会へ向けての大切な練習になりますので、出来るだけお休みしませんようご協力お願い致します。9時までにご登園下さい。

芋掘り遠足がみかん狩りになりました(うみ組・たいよう組のみ)

毎年行っている芋掘り遠足ですが、今年は天候不良と提供農家の減少により、サツマイモ掘りが出来なくなってしまいました。みかん狩りならできるそうなので、今年はみかん狩りに致します。場所は同じく「柴シーサイド恵みの里」です。保育園から徒歩で往復します。道のりが長いので歩く体力をつける為、ご家庭でもぜひ沢山歩く機会を作して下さい。

実習生のお知らせ

8月28日(月)～9月9日(土) 洗足こども短期大学から2名
9月4日(月)～9月16日(土) 横浜女子短期大学から2名
鎌倉女子短期大学から1名
聖ヶ丘福祉専門学校から1名

上記の予定で実習生が入ります。よろしくお願い致します。

幼児期の子育て～この時期に見逃すと取り返しのつかないこと～

東京モンテッソーリ教師養成コース理事長

将棋棋士の藤井聡太さんの影響で、マスコミにモンテッソーリ教育が取り上げられました。私()のところにも問い合わせが増えました。何をすれば藤井君のような集中力が身につくのか…いいえ、何をすればいいということではありません。

ある物に出会った時、ちょうどそのことを自分の中に受け入れたい、知りたいと思うその時期(モンテッソーリ教育でいう敏感期)にその子の“やりたい”が許されていたのでしょうか。

ある事に強く興味を持ったその時期にその興味を持った事(例えば言葉、数学的な頭脳、人間関係、物事をきちんとしたいと思う秩序感)に出会うと子どもは集中力を発揮します。私たちも日本語をごく自然に身に着けましたよね。苦労しなくても、話せるようになりました。集中には敏感期が必要というよりは、むしろ敏感期が来ないとその異常な集中力は生まれてこないのです。

“幼児期にやっておかないといけないこと”ができていないと、成長の過程でその歪みが見えてきてしまいます。やっておかないといけないこととは、子どもがやりたい!!と思えることです。やりたい時期にやらせるのが正解。けれども、だいたい親がやってほしくないことを子どもはやりたがります。例えば、台所仕事や水仕事。お手伝いをしないことがお手伝い、なんて親が思うことを見事にやりたがるのが子ども。ダメ!…そうではなくて、親は子どもがしたい事を出来るように考えて工夫をしなければならぬのです。子どもがその興味を発揮出来る方法を考えずに、親側の意見ばかりに従わせると親の言うことを聞かなくなります。何か親に言われても“またか”と右から左へ聞き流すようになるでしょう。

保育園に長い時間預かってもらっているのだから保育園に育ててもらえばいい、とお思になるかもしれないけれど、それは全くの考え違いです。あくまでも保育園は保育園での精一杯の自立のお手伝いをしているだけです。それ以上はいくらしてあげたくても出来るものではありません。あくまでも、子育ての基本は保護者です。

習い事を沢山させて、そこの先生に頼んでお金でもって子どもを育てようという考えはいけません。自分たちでもって、自分たちの責任で育てようとするのです。例えば、自転車や自動車にヒョイと乗せるのではなく…(3歳で抱っこなんてとんでもない話なのですよ。)子ども自身に歩かせなければ(歩く習慣をつけさせなければ)、ちょっと疲れた、または疲れていなくても可愛いからといってすぐに抱っこしていると、“自分で歩きたい”と子どもが思う肝心な時期を逃してしまうのです。

身の回りの世話についても、子どもが既にできるようになっているのに親が手伝ったり、やってあげてしまったりすると成長の妨げになります。

子どもは、「ママ、ひとりですのを手伝ってね」と願っています。親の使命は自立の援助をすることです。保育園や幼稚園に任せることではありません。疲れた、大変だ、というのなら私は産むなと言いたいです。子どもを産み育てることは尊いことです。私たちは、次の世代を担う人を育てるという使命を持っています。子どもはペットやアクセサリではないのだから親に都合良くいくわけがないのです。

親と子の関係が、その子どもの人間関係の基礎となります。そこから、友だち関係や成長に繋がります。親子の信頼関係が実は上手く築けなかったという場合には、将来犯罪へ走ってしまうことにもなりかねません。親は子どもを産んだ以上、大人になるまで子育てをする義務があります。

親と子の信頼関係を築くために…。子どもと遊ぶ時は子どもの気持ちに寄り添って遊びましょう。子どもとの約束は守ります。守れない約束はしません。そして、子どもは大人の言う“ちょっと”がわかりません。具体的に言いましょ。子どもを一人の人格として見ます。大人と同じようにはいかないけれど、子どもも一緒に生活に参加する必要があるのです。沢山の約束事をさせるのはいけません。まずは一つずつ、失敗しても良いからやらせてあげます。失敗した時の対処も一緒にやってみせ、どうしたら良いのかを伝えてあげましょ。

子どもは親の生き方を見ています。子どもを怒るよりは、“どうしたら良いのか”を一緒に考えてあげる。こういったことが、幼児期に逃してはならないことです。